

# 日野北バイパスが開通

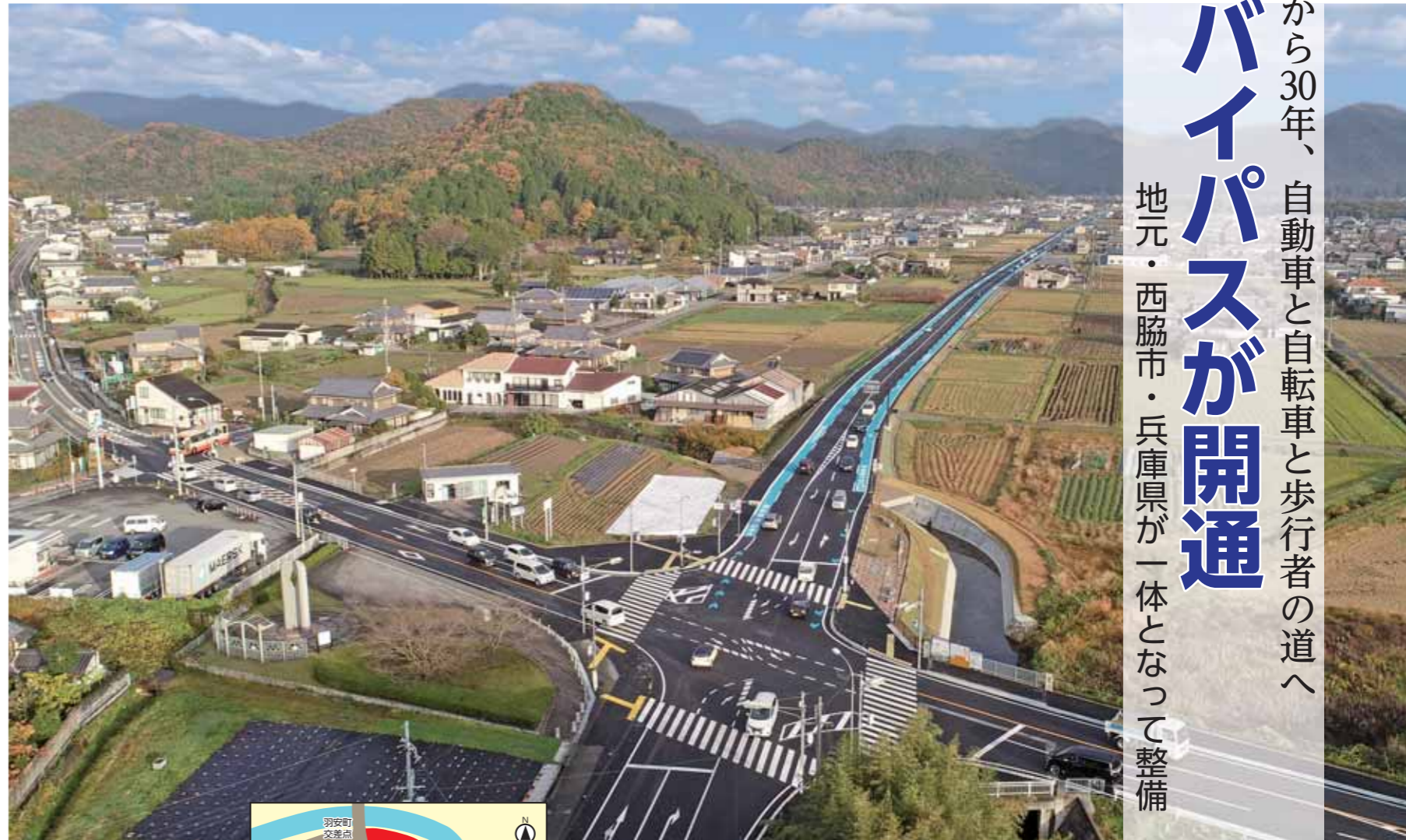
JR鍛冶屋線廃線から30年、自動車と自転車と歩行者の道へ  
地元・西脇市・兵庫県が一体となって整備

かつて西脇市と多可町を結んだJR鍛冶屋線。人や物の移動をはじめとして人々の生活を支える一方、自動車の発達とともに利用者が減少し、平成2年3月に惜しまれながら廃線となりました。

その後、旧羽安駅周辺の廃線跡地は自転車・歩行者専用道路に整備され、南北に開けた地形であり、季節の星座が一望できるこの道を「星の遊歩道」と命名。子どもたちが登下校で利用したり、地域の人々が散歩を楽しんだりして親しまれてきました。

さまざまな役割を担ってきたこの道は、令和元年11月16日、自動車・自転車・歩行者が利用できる日野北バイパス（県道中安田市原線・市道市原安線）として新たに開通しました（全幅12・25メートル）。交通ルールを守り、安全運転でご利用ください。

◆問合せ  
工務課（市役所内線516）



▲南北に開通した日野北バイパス（市原東交差点～羽安町交差点）。延長は2.37キロ



この道は、鍛冶屋線廃線直後から「道路化してほしい」との熱い要望が地元からありました。バイパス開通は地元と市、県が連携して実現したものです。開通によって、市原町の交差点での慢性的な渋滞を緩和させるとともに、多可町との交流や連携がより活発になることを期待しています。



工務課  
内橋慎介課長

みんなの

## イベントで「記憶」に残す

日野北バイパスの開通を記念して、イベントを開催しました。

### 開通前のバイパス 描く・歩く・食べる

〔11月4日〕

西脇市野村町と多可町中区鍛冶屋から、廃線跡13.2キロを歩くウォーキングイベントには約500人が参加。また、羽安駅跡地付近では鍛冶屋線をテーマにしたミュージカルの上演や和太鼓演奏などがあったほか、小学生らがチョークでロードペイントに挑戦。さらに、近隣住民らによる焼きそばや豚汁などの振る舞いがあり、子どもから高齢者まで約4,000人がバイパス開通前のメモリアルイベントを楽しみました。



### 開通記念式典を挙行

〔11月16日〕

16日午後1時の開通を前に、記念式典が開かれました。関係者や地域住民ら約120人が交通安全を祈願したのち、テープカットやくす玉を割ってお祝い。長年にわたり地域住民の先頭に立ち、バイパス整備にご尽力いただいた片岡義郎さん（JR跡地道路化推進委員）に、片山市長が感謝状を贈呈しました。



このバイパスは私たち地域住民が長年望んできた道路。開通を機に、活力あるまちづくりとさらなる地域の発展につなげます。

齋藤周蔵  
JR跡地道路化推進委員会  
委員長(日野地区区長会長)

- ①バイパスにチョークで思い思いの絵を描く子どもたち
- ②近隣住民らによる飲食ブースには長蛇の列が
- ③開通を祝うテープカットとくす玉開披
- ④片岡義郎さんに片山市長が感謝状を贈呈
- ⑤西脇中学校吹奏楽部による演奏
- ⑥白バイを先頭にバイクや自動車、自転車が通り初め

いちほら



にしわき

のむら

# わたしのまちの民生委員・児童委員

一斉改選によって委員が12月1日付で交代しました。

心配ごと、悩みごとを一人で抱えていませんか。民生委員・児童委員は、あなたの身近な相談相手です。また、相談内容に応じて関係機関への「つなぎ役」にもなります。どうぞお気軽にご相談ください。

■問合せ 西脇市民生委員児童委員連合会事務局（社会福祉課内／市役所内線 263）



▲民生委員・児童委員は子育てに関する相談にも応じています(中央・右)

民生委員は市民から寄せられた悩みや課題が解決できるよう、行政機関をはじめとする必要な支援への「つなぎ役」にもなります。

また、全ての民生委員は子どもや子育てに関する相談に応じる児童委員を兼ねており、「民生委員・児童委員」といわれています。その中でも特に児童のことを専門に担当する「主任児童委員」は児童福祉の向上に取り組んでいます。

民生委員制度は大正6年に創設された「済世顧問制度」



▲各自治会の民生委員・児童委員の名簿はこちら

／みんなの相談役／



近年、急速に高齢化と少子化が進み、核家族や単身世帯が増加しています。一方、地域では、児童や高齢者に対する虐待、自殺や貧困の問題、認知症高齢者の行方不明問題、孤独死や引きこもりなど、日々の暮らしにおける課題があり、さまざまな分野が絡み合い複雑化・多様化しています。また、地震や台風、局地的

豪雨など自然災害が頻発し、災害時要援護者の安全確保も大きな課題となっています。

こうした中、民生委員・児童委員は常に地域住民の立場に立ち、生活上の心配ごとの相談や福祉サービスを利用するためのお手伝い、児童虐待の防止や不登校・引きこもり対策などさまざまな活動に積極的に取り組んでいます。

## 関係機関への「つなぎ役」相談の秘密を守ります

「地域のために役に立ちたい」「困っている人の立場に立って手助けをしたい」という方が、それぞれの自治会長から推薦され、市や県の審査を経て、厚生労働大臣が地方公務員の非常勤特別職として委嘱する無報酬のボランティアです。

活動に必要な知識や技能を学ぶため、児童、障害者、高

齢者のそれぞれについて研修を行っています。民生委員・児童委員は研修で学んだことを生かし、西脇市社会福祉協議会が主催する高齢者との食事会への参加や、各小中学校で開催される「児童と乳幼児のふれあい交流事業」の体験学習を手伝うなど、まちの福祉を担う存在として活躍しています。

## 民生委員・児童委員の役割

## まちの福祉を担うボランティア



▲幅1.5メートルある自転車専用通行帯。自転車が通行する空間を青く色分け

### ◆自転車専用通行帯のルール

- ・自転車は青色部分を走行しましょう
  - ・自転車専用通行帯は「左側一方通行」「逆走禁止」です
  - ・自動車・バイク（原付を含む）は原則走行できません
  - ・車両の駐車は禁止です
- ※70歳以上の高齢者、12歳以下の児童・幼児などは歩道を自転車で通行することができます



自転車を駐車させておく「サイクルラック（ハンガー）」を2カ所に設置しています。

バイパスに

## この道の「記録」を残す

### 羽安駅跡地を再整備



バイパス整備に合わせ、羽安駅跡地を「再び人々が集う場所に」というテーマに基づいて再整備しました。この場所は地元の方によって「はやす駅跡公園」と名付けられ、羽安駅の駅名看板を復元させたほか、この道の歴史や歩みを記した看板も設置しました。

敷地内には駐車場とサイクルラックがあり、休憩できるベンチもあります。ここに立ち寄って一息つきませんか。



### 地域の歴史を知る



文化財保護として遺跡の記録を残すため、バイパス工事を始める前に発掘調査を実施しました。

調査では弥生時代後期（約1,800年前）の竪穴住居跡のほか、奈良時代や室町時代の掘立柱建物跡など当時の生活の痕跡が見つかりました。

この調査結果を解説する看板を、歩道沿いの調査箇所を設置。また、バイパス周辺の文化財を案内する看板をはやす駅跡公園などに設置しており、歩きながら地域の歴史を学ぶことができます。

### 季節の星座を探して



星の遊歩道に設置していた四季の星座盤（15種類）をバイパスの歩道等に埋め込み、遊歩道の名残をとどめています。

バイパスがある場所は南北に地形が開けており、季節の星座を一望することができます。該当する季節に星座盤の前に立って夜空を見上げ、その星座を探してみませんか。

歩道沿いには四季ごとの代表的な星座や天体を解説する看板があり、歩きながら夜空を楽しむことができます。

## 自転車で走ってみよう

日野北バイパスを自転車で通行するときは、「自転車レーン」とも呼ばれる自転車専用通行帯を利用しましょう。

なお、自転車専用通行帯には、いくつかの注意点があります。左記のことに注意して、安全に利用しましょう。

また、バイパスの沿線には、

バイパスの整備に合わせ、道路を利用しながら楽しめるさまざまな「仕掛け」を施しました。サイクリングや散歩をしながら探してみてください。

走って歩いて楽しい道  
来て、確かめて



工務課 藤田雅量主任